

令和6年度日本植物病理学会関西部会のお知らせ

令和6年度関西部会開催地委員長 小林 括平

令和6年度日本植物病理学会関西部会を下記のとおり開催致します。万障お繰り合わせの上、奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

I. 会場と日程

- ・会場：愛媛大学 城北キャンパス

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 (<https://www.ehime-u.ac.jp/>)

- ・日程：令和6年9月19日（木）11:30～ 受付 <共通講義棟A エントランス>
13:00～14:00 総会・部会長講演 <グリーンホール>
14:20～18:10 一般講演 <第1～3会場>
18:30～20:30 情報交換会<大学会館内 PALTO>
令和6年9月20日（金）9:00～11:25 一般講演 <第1～3会場>

II. 開催地ホームページ

- ・参加登録，発表者登録，講演要旨受付などは下記よりお願いいたします。

<https://va.apollon.nta.co.jp/kansaibukair6/>

III. 参加受付

- ・締切：令和6年9月6日（金）

締切以降，HPからの事前参加登録はできません。

- ・参加費：参加費 正会員および非会員 4,000円（9月6日以降は5,000円）
学生会員および学部生会員 2,000円（9月6日以降は3,000円）

：講演要旨集をご希望の方 1部 2,000円 より別途ご注文いただけます。

部会終了後の発送になります。

：情報交換会費 5,000円（学生3,000円）

講演プログラムおよび要旨集は，9月上～中旬までに学会ホームページにて公開し，

参加登録者は無料でダウンロードいただけます。

名札は当日受付にてお渡ししますので，部会参加期間中は必ず携行してください。

- ・要領：（株）日本旅行の予約システム Apollon によるオンライン受付を行います。上記アドレスにアクセスし，まず新規利用者登録を行ってください。参加登録は参加者1人ずつ行ってください。お支払方法は，クレジットカード，コンビニ決済，銀行振込からお選びいただけます。

IV. 発表申込 と講演要旨の作成要領

・締切：令和6年7月31日（水）

・要領：発表ができるのは日本植物病理学会会員（令和6年度会費納入者）で、1人1題とします。発表希望者は、参加登録のログインページ内の「[講演申込はこちら](#)」から発表者情報および発表申込情報をご登録ください。講演要旨は「[要旨投稿はこちら](#)」からアップロードしてください。締切前であれば何度でもアップロードが可能で、ファイルは上書きされます。要旨は「講演要旨原稿作成要領」に従ってMS Wordのファイルで作成し、ファイル名を「発表者氏名.docx」としてください。「III. 参加申込」，「講演申込」，「講演要旨原稿の投稿」をもって発表の申し込みと致します。なお，講演要旨は，座長等による審査の後に「日本植物病理学会報」に掲載されます。

V. 発表の形式とデータ提出

・発表形式：発表は口頭のみで行います。ポスター発表は行いません。

・口頭発表要領：口頭発表は討論時間を含めて12分程度を予定していますが、演題数によって変更することがあります。発表用ファイルは、前もってWindows版「PowerPoint 2019」で正常に表示されることを必ずご確認ください。ウイルスチェックをお済ませの上、USBメモリーに保存してください。ファイル名はすべて半角英数字で「講演番号-発表者姓.pptx」として下さい（例「001-Ito.pptx」）。発表用ファイルは、部会初日に発表の方は9月19日午前11時までに、2日目に発表の方は午後4時までに、受付にてパソコンにコピーし動作確認をお願いします。お持ちいただいたUSBメモリーはその場で返却致します。なお、サイズが重いファイルはパソコン動作に不具合をきたすことがありますので、なるべく軽いファイルをご準備ください。

VI. 宿泊と交通

開催地事務局では宿泊・交通等の斡旋を行いませんので、各自で手配をお願い致します。

<会場までのアクセス> <https://www.ehime-u.ac.jp/about/access/>

◆松山空港から空港リムジンバス（飛行機でお越しの方）

- ・JR松山駅まで約15分
- ・伊予鉄松山市駅まで約23分
- ・大街道まで約30分

その後のルートは以下をご参照下さい。

◆JR松山駅から（JRでお越しの方）

伊予鉄市内電車（古町方面行き）に乗り換え、赤十字病院前まで約20分、徒歩で約5分

◆伊予鉄松山市駅から（高速バスでお越しの方）

伊予鉄市内電車環状線（大街道方面行き）に乗り換え、赤十字病院前まで約16分、徒歩で約5分

◆大街道から（高速バスでお越しの方）

徒歩で約17分

※伊予鉄市内電車及び空港リムジンバスでは全国交通系 IC カード（Suica・PASMO 等）を使用できますが、路線バスは対応しておりませんのでご注意ください。詳しくは伊予鉄 HP をご覧ください（https://www.iyotetsu.co.jp/ticket/ic_card.html）

※大学内の駐車場はご利用いただけませんので、お車でお越しの方は周辺の有料駐車場をご利用ください。

VII. ネットワークについて

大学構内では「えひめ Free-Wi-Fi」を利用できますが、非暗号化通信ですのでご注意ください。学内の無線ネットワークには接続できません。eduroam をご利用の場合は事前に接続アカウントを準備してお越しく下さい。

VIII. 昼食について

学食を利用できますが混雑する可能性があります。大学周辺にも飲食店がありますのでご利用ください。

IX. 連絡先

- ・令和 6 年度関西西部会の各種お問い合わせ等は、関西西部会開催地事務局へお願いいたします。

令和 6 年度日本植物病理学会関西西部会開催地事務局

〒790-8566 愛媛県松山市樽味 3-5-7

愛媛大学大学院農学研究科（八丈野・鮎川・小林）

TEL: 089-946-9813

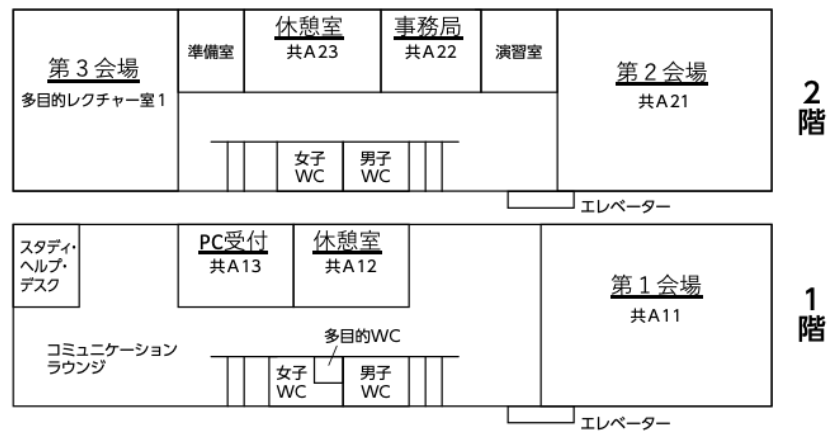
FAX: 089-946-9813

E-mail : yaeno(at)agr.ehime-u.ac.jp

※メール送信の際は(at)を@に置換して下さい



・ 総会	グリーンホール	・ 受付	共通講義棟エントランス
・ 第1会場	共A11	・ PC受付	共A13
・ 第2会場	共A21	・ 休憩室	共A12, 共A23
・ 第3会場	多目的レクチャー室1	・ 役員会	共A22
・ 情報交換会	大学会館内PALTO	・ 事務局	共A22



令和6年度関西西部会講演要旨原稿作成要領（昨年度と同じです）

※講演要旨様式テンプレートファイル（R6Kansai_form.docx）が、日本植物病理学会ホームページ<研究集会（2024）—関西西部会（<http://www.ppsj.org/meeting.html>）>からダウンロードできます。

<全体の大きさ>

- ・和文講演者氏名から所属略称までが、縦 73 mm，横 161 mm の枠に収まるようにする。
- ・1つのファイルに収める講演要旨原稿は1つとすること。

<ページ設定>

- ・用紙サイズ：A4 用紙，縦方向。
- ・余白：上 15 mm，下 30 mm，左 25 mm，右 25 mm。
- ・文字数と行数：「文字数と行数を指定する」を選択し，文字数 50，字送り 9 pt，行数 51，行送り 14 pt。

<配置>

両端揃え（所属略称のみ右端揃え）

<フォント>

- ・フォントサイズ：すべて 9 pt。
- ・日本語用フォント：平成明朝または MS 明朝（但し和文題目のみ平成角ゴシックまたは MS ゴシック）。
- ・英数字用フォント：Times New Roman。すべて半角。
- ・句読点：「，」「。」
- ・イタリック指定：題目，本文中とも学名などイタリックにする必要があるものはすべてイタリックで表記。

<和文講演者氏名>

（1行）講演者が複数の場合は中点「・」で区切り，発表者名の前に丸印「○」をつける。所属が異なる場合には，上付き番号「¹」「²」で区別する。

<和文題目>

（2行以内）フォントは平成角ゴシックまたは MS ゴシックとする。

<英文講演者名と英文題目>

（2行以内）氏名は，family name，first name initial，middle name initial の順に書き，initialの間にはスペースを空けない。講演者名と英文題目の間は，コロン「:」で区切る。

<本文>

9行以内で記載する。

<所属略称>

（1行）括弧「()」に入れ，右端揃えとする。複数の場合は中点「・」で区切り，和文講演者氏名に対応させて上付き番号「¹」「²」をつける。

<講演要旨原稿の下に、以下の情報を記入>

- (1) 発表希望分野（「菌類病」, 「細菌・ファイトプラズマ病」, 「ウイルス・ウイロイド病」, 「植物保護」の中から1つ選ぶ）
- (2) 発表内容（「分類・同定」, 「検出・診断」, 「病原体の性状」, 「発生生態」, 「感染生理」, 「病原性・抵抗性」, 「防除薬剤・薬剤耐性」, 「生物防除・防除法」, 「その他」の中から1つ選ぶ）
- (3) 対象植物（和名または学名で示す）
- (4) 対象微生物（和名または学名で示す）
- (5) 原稿送付者の氏名
- (6) 原稿送付者の E-mail アドレス
- (7) 発表者の学会会員番号（会員番号は封筒の宛名シールに記載されています。令和6年度会費未納の方は、至急会費をお支払いください。）

講演要旨原稿の例（本文は9行以内を厳守!）

○鮎川侑¹・松山太郎¹・八丈野孝^{1,2}
オオムギうどんこ病菌によるグリーンバイオニシア形成メカニズムの解析
Ayukawa, Y., Matsuyama, T., and Yaeno, T.: Analysis of green bionissia formation on barley leaves infected with *Blumeria graminis* f. sp. *hordei*.

オオムギうどんこ病菌（*Blumeria graminis* f. sp. *hordei*）が侵入した表皮細胞の周辺では、葉組織のセネッセンスが抑えられ、まるで海に囲まれた島国のように、黄化した細胞に取り囲まれた緑色の葉肉細胞が顕在化するような状態になる。この現象はグリーンバイオニシア（緑の属国）と呼ばれている。宿主の防御応答として葉組織全体のセネッセンスが促進されるのに反して、その緑色葉肉細胞においては葉緑体の分化が維持されたままになり、光合成産物を供給し続けるように強いられていると考えられるが、そのメカニズムはおろか現象についてはほとんど理解が進んでいない。我々は、グリーンバイオニシア形成における光合成活性や葉緑体構造の変化を解析し、メカニズムの解明に取り組んでいる。本発表ではオオムギうどんこ病菌が宿主の色素体をどのように時空間的に制御しているのかについて議論する。 **（本文9行以内厳守!!!）**
(¹愛媛大院農・²愛媛大柑橘産業イノベセ)

- (1) 菌類病
- (2) 感染生理
- (3) オオムギ
- (4) オオムギうどんこ病菌
- (5) 鮎川侑
- (6) xxxxxx@ehime-u.ac.jp
- (7) XXXXXX